

「エーエ、ばどんか」

「違ふがな、オイ喜イやん、何とか言ふてんか、保さん、保さんや」

「フエー、何んや」

「保さんや」

「なんや……言ふてるが、フエ……私は、つんぼぢや、フエ……用があつたら、フエ……書いてくれ
「ア、つんぼや、書いて呉れと、コレ、此處へ、書くで、宜いか、保さんは、ここのうちへ
こなんだか、どうや解つたか」

「フエ……、何ぢや、保さんは、此所の家へ來なんだか、と聞きなさるのんか、保平なら來んく」
「ア、叔父さんも狐や」

『上方はなし』を聴く會

樂語莊同人

毎月一回、高麗橋の三越八階ホールに於いて、小莊主催で純上方はなしを聴いて頂く會を開きます、從來誤られたる營業政策の犠牲に成つて心ならずも引き歪めた嘶や、尻切蜻蛉の様な落語ばかりを演つて居た私共が、茲に凡ゆる桔槔から脱して、自由と思ふ儘の『はなし』を演らせて頂くと云ふのが主眼でございます、誠にお耻しい様な未熟者の集合なので、決して御満足を與えるなど、申す事は出来ませんが、尠くとも従来より良心的な演藝を以てお目見得する事だけは、慥に出来ると思存します。何卒御後援の意味で御來會を給り度く偏にお願ひ申し上げます。

三月は四日(土曜日)午後正一時からであります。

會員制になつて居りますから、此頁の裏面に印刷してある會員證を切取て當日會場入口でお示しを願ひます。